

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

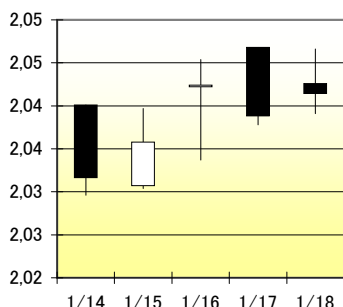


1. マーケット・レート

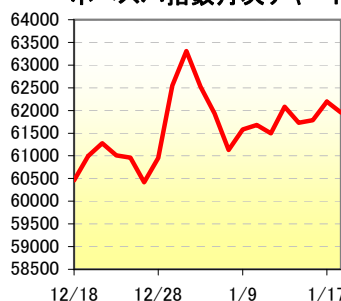
			1月14日	1月15日	1月16日	1月17日	1月18日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,0320	2,0350	2,0430	2,0420	2,0440	+0,0020
	USD/YEN	Spot	89,46	88,80	88,43	89,96	90,07	+0,1100
	EUR/USD	Spot	1,3375	1,3308	1,3290	1,3375	1,3321	-0,0054
	BRL/YEN	Spot	44,03	43,61	43,31	44,12	44,13	+0,0100
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,20	1,24	1,26	1,40	1,39	-0,0049
		1Year(p.a.)	1,27	1,33	1,37	1,43	1,45	+0,0144
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,04	6,55	7,04	7,09	7,08	-0,0140
		1Year(p.a.)	7,10	7,11	7,16	7,20	7,18	-0,0203
Stock	Bovespa		62.081	61.728	61.787	62.194	61.956	-237,92
Bond	CDS Brazil 5y		112,30	112,01	112,01	111,50	108,67	-2,8300
	Global 40		125,235	125,375	125,250	124,925	125,500	+0,5750

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

USD/BRL直近5営業日



ボベスパ指数月次チャート



レアル先物金利月次チャート



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
なし				

4. 週間市況、トピックス

- ・ 今週の為替相場はU\$1=R\$2.0380で寄り付いた。
- ・ 週初はレアルは寄り付き後買いが優勢となり、週間高値となるU\$1=R\$2.0300を付けた。
- ・ しかし翌15日には米国の債務をめぐる懸念が再燃し、リスク資産の売りが見られると、レアルも2.03台後半まで売り戻された。
- ・ 週央にかけてはユーロ圏財務相会合のユンケル議長がユーロは「危険なほど高い」水準にあると発言したことが嫌気され、リスク資産の売りが優勢となった。レアルは流動性に欠ける一日となり、リスク資産の売りの動きや大口の資金流出の噂からじりじりと2.04台まで売り戻された。
- ・ 翌17日には45億ユーロ規模のスペイン国債入札で落札利回りが前回の入札時を下回ったことが好感され、ユーロが上昇し、レアルもつられて買いが優勢となり、一気に2.03台後半まで買い進まれた。
- ・ 週末にかけては中国の経済成長が10-12月に2年ぶりに加速した一方、1月の米消費者マインド指数は予想に反して低下したことを受けてリスク資産の売りが見られ、レアルも2.04台後半まで反落し、結局U\$1=R\$2.0440で越えた。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
1/21	FGVインフレ率-IGP-M(プレビュー)	jan/20	0.37%	0.41%
1/21	貿易収支(FOB)-週次	jan/20	--	-\$878M
1/23	FGV CPI IPC-S	44562	0.97%	0.89%
1/23	IBGE CPI IPCA-15(拡大/前月比)	Jan	0.80%	0.69%
1/23	経常収支(月次)	Dec	-\$6310M	-\$6265M
1/23	対内直接投資	Dec	\$4100M	\$4587M
1/24	FGV消費者信頼感	Jan	--	118.7
1/24	COPOM Monetary Policy Meeting Minutes			
1/24	税収	Dec	103150M	83707M
1/25	Private Banks Lending	Dec	--	1220B
1/25	貸付残高(前月比%)	Dec	--	1.5%
1/25	融資残高	Dec	--	2304B
1/25	個人ローン・デフォルト率	Dec	--	7.8%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.01-2.06

今週はレアルの流動性が低下し、狭いレンジでの取引となった。国内では COPOM で SELIC は市場予想通り、7.25%に据え置かれ、中銀の声明からはインフレの短期的な見通しは悪化しており、「長期にわたって」金利を安定させることが最善の戦略だとの見解を示した。来週発表される COPOM 議事録から中銀のスタンスが明らかになるであろう。海外では景気動向や鉱工業生産などが注目され、内外でレアル相場を動かす要因が数多い。しかし、アンオフィシャルながら中銀によるレアルの上限レートと目される 2.0000 に迫る局面では引き続き伯中銀によるドル買い介入に対する警戒感も強く、値動きはやや限定的となるであろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department